



# 鶴の便り 鶴の便り

## 夕鶴の里資料館報

平成25年2月20日  
第 26 号  
発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

各班毎の代表者と語りの題  
目は次のとおりです。

### 平成二十四年度漆山小学校語り部養成講座 成果を披露

地域の文化を学び、表現力の向上を図るため、漆山小学校四・五年生を対象に、民話会ゆうづるの語り部さん五名が同小学校に出向き語り部養成講座を行ってきました。

今年度は、四年生二十五名、五年生二十一名の計四十六名が五班に別れて三回に亘る講座を受講し、最終回の一月三十一日には、各班の代表者二名ずつ合計十名が、練習の成果を披露しました。

この発表会は、NCVで放映されました。

### 1 班



須貝 雅 (5年)  
「舌切り雀」



平井 義祈 (4年)  
「十二支ばなし」

### 2 班



鈴木 佑来 (5年)  
「白竜湖の琴の音」



小川 駿太 (4年)  
「和尚と小僧」

### 3 班



鈴木 里子 (5年)  
「長い名の子」



高橋 駿太 (4年)  
「福は内」

### 4 班



飯澤 まつり (5年)  
「舌切り雀」



尾形 実紅 (4年)  
「おぶさろのおぼけ」

### 5 班



樋口 未侑 (5年)  
「まんじゅうこわい」



高橋 大智 (4年)  
「クモとハチ」

叔父さんから伝説集

山形師範学校を出ると、叔父は中国の中学校の教師になって、旅順へ行った。たまたま東京での講習会があつて、終わると、実家が西村山郡の朝日町なので、姉である私の母のところに一泊して中国へ帰ったが、そのときの子どもたちへの土産に、『伝説集』上下二冊をもつて来てくれた。

私の年令にうまく合致したのか、私の机の上に数年置かれていた。思い出そうにも、内容が浮かんで来ないのだが、厚表紙で絵の美しさ、その一つに「龍宮」へ亀を助けたお礼に三日間、招待されて、タイやヒラメの舞いを見せてもらい、故郷を三日目に思い出して亀の背中によつて戻ってくるが、龍宮の三日間は、人間の世界の三百年にあたり、知っている人は誰もいない。

そこで、土産ももらつてきた玉手箱を開けたら、若者だった彼は、たちまちおじいさんになったという、例の話だけが、私の記憶にはつきり残っている。多分これが昔話・伝説に出会つた最初であつたように思います。

当時『講談社の絵本』があつたが、高価だったのか、買ってもらえ

なかつたから、同じクラスで裕福な友達を持つていたのを借りて、昔話や伝説はほとんど見たが、それにくらべれば叔父さんからいただいた二冊本の厚表紙は格が違つていて、そつと友達に貸して得意になつていたので思い出す。

あるいは、私が後に私のクラスの子どもたちと一緒にあつて、昔話・伝説を集め、それが幼児にとつて、その幼児の人格の基礎になる上に、それが幼児の十年間であることを知つて、昔話・伝説の重要な役割を果たすことを知つて、その収集と研究に入り込んだ契機になつたのだつたと、今になつてよい仕事をもらつたものと思つている。それが単に日本だけでなく、全世界の子どものものと知つたのも、ありがたいことである。

夕鶴の里特別研究員 武田 正



夕鶴の里入館状況

平成二十四年度の四月〜一月までの十カ月間の入館状況は左記のとおりとなっております。今後とも皆様のご来館をお待ち致します。

	23年度	24年度	対前年比
4月～8月までの入館者	3,664人	7,286人	198.9%
9月の入館者	1,236人	975人	78.9%
10月の入館者	1,327人	1,521人	114.7%
11月の入館者	1,058人	1,079人	102.0%
12月の入館者	290人	209人	72.1%
1月の入館者	121人	299人	247.2%
合計	7,696人	11,369人	147.7%

～お願い～

夕鶴の里駐車場への無断駐車は除雪の妨げになりますので、ご遠慮ください。やむを得ず駐車する場合は電話連絡で結構です。お知らせくださいますようお願いいたします。



夕鶴の里友の会会員募集

夕鶴の里友の会では、会員の募集を行っております。民話に関心のある方、夕鶴の里友の会活動に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

連絡先 夕鶴の里内事務局  
電話 47-5800